



神を仰ぎ 人に仕う

Chapel News

2019年12月

No.15

「ローマ教皇のクリスマス・メッセージ」

先月、ローマ・カトリック教会の教皇フランシスコが来日したことは大きな話題となりました。彼は疎外され虐げられている人々の側に立ち、出身地アルゼンチンにおける厳しい状況に命がけで向き合った人でもありました。

フランシスコはツイッターも活用していますが、日本滞在中であった11月24日のツイートには、「主キリストに会いに出かけましょう。キリストは来られます！将来を恐れ、おじけづいてはいけません」とあります。クリスマスを目前にした今の時期にまことにふさわしい勧めでしょう。

昨年2018年のクリスマスにおける教皇メッセージには以下のような言葉があります。「神のみ顔は、…天使のうちにはなく、ある時、ある場所で生まれた方に現れました。神の御子をご自分の受肉のうちにわたしたちに示しているのは、愛と受容、さらにはわたしたちの貧しい人間性の尊重によって救いはもたらされるという事実です。わたしたちはその人間性を、多種多様な民族、言語、文化の中で共有しています」。また、このことをふまえて、「わたしたちの間の相違は不利益でも危険でもなく、豊かさです。芸術家がモザイクを制作しようとするときのように、多彩な色の石があったほうが、少ないよりずっと良いのです」と、相違や多様性こそが豊かさなのだと言っています。

そして、メッセージは次のような祈りで結ばれます。「今、飼ひ葉桶の中におられる小さく寒さに震える幼子イエスが、地上のすべての子どもたちと、弱くて無防備で、排除されているすべての人を守ってくださいますように。救い主の誕生によってすべての人が平和と慰めを受け、唯一の天の御父に愛されながら、兄弟姉妹であることを再認識しつつ生きることができるよう」。私たちも、この祈りに「アーメン！」と心を合わせてクリスマスを迎えたいと思います。

(大学・人文学部チャプレン 柳田 洋夫)

2019年度年間聖句

希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。

ローマの信徒への手紙 12章 12節

12月月間聖句

わたしたちは、わたしたちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。

ヨハネの手紙 — 4章 16節

チャペル開放について

授業期間中、月曜日の10時から16時までの間、静かにお祈りをする方のためにチャペルを開放しています。ご希望の方はチャペル正面玄関よりお入りください。

クリスマス映画会(チャペルシアター)

12月9日(月)13時00分より、チャペルにて「東京ゴッドファーザーズ」(監督:今敏、2003年)を上映します。どなたでもご参加ください。

女声コーラスグループ“グリーン”コンサートにおける募金について

グリーンによる点火祭コンサート後に募金活動が行われ、71,548円が献げられました。東日本大震災を中心とした被災地支援のために用いられます。ご協力ありがとうございました。

聖学院教会祈禱会

毎週木曜日 18時40分～19時40分、緑聖ホールC室にて行っております。

・12月12日(木) 民数記 24章 東野ひかり牧師 どなたでも自由にご参加ください。

全学礼拝期間について

2019年度秋学期の全学礼拝は、下記日程で行っています。毎週火曜日から金曜日、14時40分から15時10分です。どなたでも自由にご参加ください。

春学期/2019年10月1日(水)～2020年1月24日(金)

主の祈り

天にましますわれらの父よ

ねがわくはみ名をあげさせたまえ

み国をきたらせたまえ

みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ

我らの日用の糧を今日も与えたまえ

我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく

我らの罪をもゆるしたまえ

我らをこころみにあわせず 悪より救い出^{いだ}したまえ

国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり アーメン



12月10日(火)

～聖書朗読とオルガン曲による
メデイテーション～

奨励者 渡辺 善忠
(日本基督教団巢鴨教会牧師
・本学講師)

司会者 五十嵐 成見
奏楽者 渡辺 善忠

前奏
讃美歌 94番1、2節
聖書 ルカによる福音書
1章26～45節(新約P.100)

祈禱
奨励 「アドヴェント～
クリスマスを彩る音楽」

祈禱
讃美歌 94番3、4節
主の祈り
後奏

12月11日(水)

奨励者 久保 哲哉
(キリスト教センター主事)

司会者 柳田 洋夫
奏楽者 倉橋 基

前奏
讃美歌 270番1、2節
聖書 マタイによる福音書
4章1～11節(新約P.4)

祈禱
奨励 「異世界転生無双のリアル」

祈禱
讃美歌 270番3、4節
主の祈り
後奏

12月12日(木)

奨励者 野村 春文
(児童学科特任講師)

司会者 菊地 順
奏楽者 相川 徳孝

前奏
讃美歌 21-262番1、2節
聖書 ルカによる福音書
1章28～38節(新約P.100)

祈禱
奨励 「神の言葉を受け入れて
生きること」

祈禱
讃美歌 21-262番3節
主の祈り
後奏

12月13日(金)

奨励者 田中 かおる
(日本基督教団安行教会牧師
・本学講師)

司会者 久保 哲哉
奏楽者 今村 優子

前奏
讃美歌 121番1、2節
聖書 エフェソの信徒への手紙
2章14～16節(新約P.354)

祈禱
奨励 「インビクタス
(負けざる者たち)」

祈禱
讃美歌 121番3、4節
主の祈り
後奏

☆☆☆リトリートのお知らせ☆☆☆

日時:2020年2月6日(木)～7日(金)
場所:森林公園ホテルヘリテージ(熊谷)



リトリートとは? 実行委員たちが考えたテーマをもとに、学生と教職員がひとつになって楽しいときを過ごします。笑いあり、涙あり、賛美あり、ゲームあり。おいしい食事と温泉で、心も体もリフレッシュするときを一緒に過ごしませんか!?
参加希望者はキリスト教センターまでお問合せください!! 参加費:5,000円(1泊3食付)



テーマ:働きアリの限界 ～その時気付くギリギリの大切さ～